

第74期

# 中間報告書

平成19年4月1日～平成19年9月30日



 **サンリン株式会社**

## 株主の皆さまへ

ますますご清祥のこととおよろこび申し上げます。当社第74期中間期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）のご報告にあたり一言ご挨拶申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、戦後最長の景気回復過程にあるといわれるものの、格差社会の顕在化、経済の二重構造化がもたらす将来への不透明感もあり、実感が伴わない極めて神経質な状況にあるといえます。加えて、世界的なエネルギー、資源価格の高騰が景気への懸念材料となっておりまいました。

とりわけ私どもエネルギー業界にありましては、原油等の価格が空前の高値圏にありなお上昇気配のなかで、仕入価格高が先行したことから減益圧力に苦闘する推移となりました。さらに、業界間に垣根のない「複合エネルギー時代」にあって、ガス対電気の競合は激しさを増すばかりであり、個々の企業にとりましては、生き残りをかけた大競争の真っ只中にあります。サンリンググループは、今後の10年、20年を見据えて、変革と競争に果敢に立ち向かうため総合力の強化につとめ、環境に配慮した「エネルギーのベストミックス」を推進するとともに生活者が求める「総合生活サービス」の提供につとめております。

これらの結果、当中間期の連結売上高は146億87百万円（前年同期比1.8%減）、連結経常利益は2億76百万円（同8.7%減）、連結中間純利益は1億64百万円（同6.8%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月



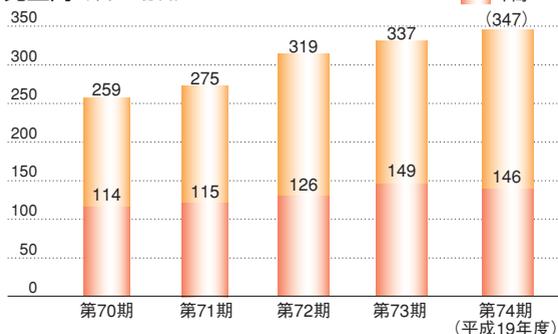
代表取締役社長

二 木 馨 三

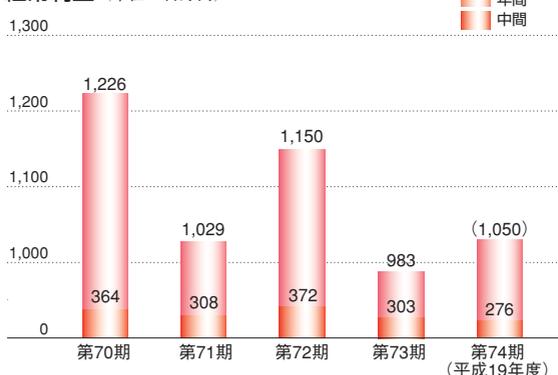
# 営業の概況（連結）

## ■財務ハイライト

売上高（単位：億円）



経常利益（単位：百万円）



純利益（単位：百万円）



**石油事業** 車に関する技術力、接客マナーおよびSS内の美化等基本サービスの充実につとめております。価格動向を敏感に反映した灯油の卸売部門の販売量が伸び悩んだことから、売上高は前年同期比3.0%減の74億60百万円となりました。

**LPガス事業** 住宅のオール電化対策に尽力しておりますが、今期から新たに「お客さま訪問サービス」系の配置を試行いたしました。お客さまの要望を的確に反映させ、きめの細かいサービスの提供につとめてまいります。販売価格が上昇したこともあり、売上高は前年同期比5.1%増の45億28百万円となりました。

**住設機器類等** 団塊の世代が定年を迎え、今期はリフォーム事業に一段と注力しております。また、LPガスの特性を生かしたCO<sub>2</sub>の発生が少ない高効率・高機能型燃焼器の販売に積極的に取り組み、売上高は前年同期比1.2%増の16億23百万円となりました。

**煉炭・豆炭** 販売シェア拡大につとめ前年同期比11.9%増の1億72百万円となりました。

**一般高圧ガス他** 医療用・工業用ガスは堅調な推移となりましたが、工事部門の完工遅れの影響をうけ、売上高は前年同期比25.1%減の9億3百万円にとどまりました。

## <部門別営業状況>

部門別	第73期中間		第74期中間(当期)		増減率 金額
	金額 百万円	構成比 %	金額 百万円	構成比 %	
石油類	7,688	51.4	7,460	50.8	△3.0
LPガス	4,310	28.8	4,528	30.8	5.1
住設機器類等	1,604	10.7	1,623	11.1	1.2
煉炭・豆炭	154	1.0	172	1.2	11.9
一般高圧ガス他	1,205	8.1	903	6.1	△25.1
合計	14,963	100.0	14,687	100.0	△1.8

(注) 金額は百万円未満を切り捨てております。

# トピックス

## ◆設備投資

### ◆穂高支店充填設備の更新・松本ガスセンター本社地に移転

7月に穂高支店の充填設備を全機更新いたしました。

また、当社充填施設で最も古い松本ガスセンターは老朽化がすすんだため、松本市中心部である現在地から三鱗運送株式会社本社とともに山形本社地に移転させ効率化をはかることにしました。繁忙期には11月中の完成、本格稼働を旨として建設がすすめられています。

住所は長野県東筑摩郡山形村字下本郷4082-5となります(当社中信卸支店と同一場所)。

## ◆LPガス保安システム・バルク供給システムの推進

### ◆認定対象消費者割合71%を堅持 (19年9月末現在)

認定対象消費者(「はい!セーフ24」により双方向通信が可能な機器を設置・管理している消費者)割合が70%以上あると、高度な安全・安心を提供できる販売事業者として認定される制度です。継続的な設備投資が要求されることから、全国で352社1.4%の認定となっています(平成18年3月末現在)。

### ◆LPガスバルク供給システムの拡充 (19年9月末現在)

バルク貯槽によるガス供給に日本でいち早く取り組み、先導的役割を果たしてきました。バルク供給は、当社小売販売数量の72%を占めています。



はい!セーフ24の風景▶



バルク貯槽とバルクローリー▶

# トピックス

## ◆サンリンLPガスがお客さまに選択される4つの条件

### 1. バルク供給で安価なLPガス（価格メリット）

厨房・給湯・暖房をLPガスで賄うガスメイン住宅の設備費・燃料費は約100万円ですが、同等機能のオール電化プランの場合約190万円となります。ガスメイン住宅は、設備費が安いいため、オール電化プランがガスメイン住宅よりもお得になるには約14年の期間が必要になります。

### ■設備費および燃料費比較（照明・家電は除く）（単位：円）

プラン	ガスメイン住宅	オール電化プラン
厨房	ガラストップコンロ	IHクッキングヒーター
金額	160,000	280,000
給湯	エコジョーズ	エコキュート370ℓ
金額	390,000	740,000
暖房	温水ルームヒーター3台	蓄熱暖房機3台
金額	275,000	750,000
設備費合計	825,000	1,770,000
燃料費（年間）	203,460	138,050
合計金額	1,028,460	1,908,050
設備費差額	－	+945,000
燃料費の差額（年間）	－	△65,410

（注）LPガス料金：当社バルク料金（平成19年12月現在）

### 2. LPガスの機能性・利便性

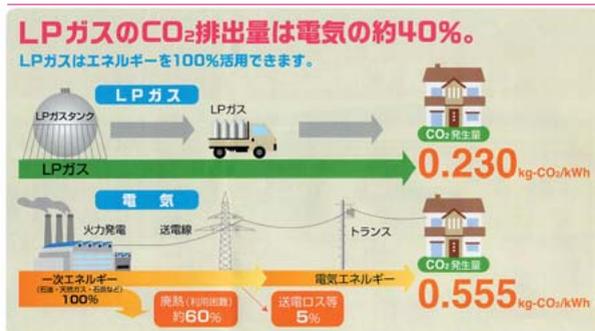
（「エネルギーのベストミックス」を実現）

環境に配慮した本物志向の生活スタイルには、LPガスの特性を生かしたCO<sub>2</sub>の排出が少なく、かつ熱効率が低い、省エネタイプの燃焼機器が最適です。

LPガス機器は右のようにご利用いただけます。



### 3. 優れたエネルギーLPガス（少ないCO<sub>2</sub>排出量）



### 4. 災害に強いLPガス（安全・安心）

新潟県中越地震（平成16年10月）、能登半島地震（平成19年3月）や新潟県中越沖地震（平成19年7月）において、LPガス設備の迅速な復旧が証明されました。

（注）CO<sub>2</sub>発生量は「地球温暖化対策法政令」より

# 決算短信／株価・出来高の推移

## ◆平成20年3月期中間決算短信

### 1. 平成19年9月中間期の連結業績（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

#### (1) 連結経営成績

(%は前年同期比増減率)

	売上高(百万円)	%	営業利益(百万円)	%	経常利益(百万円)	%	中間利益(百万円)	%
19年9月中間期	14,687	△1.8	224	△6.7	276	△8.7	164	△6.8
18年9月中間期	14,963	18.1	240	△29.3	303	△18.6	176	-
19年3月期	33,759	5.5	862	△19.3	983	△14.5	568	-

	1株当たり中間純利益
19年9月中間期	13円41銭
18年9月中間期	14円39銭
19年3月期	46円40銭

#### (2) 連結財政状態

	総資産(百万円)	純資産(百万円)	自己資本比率(%)	1株当たり純資産
19年9月中間期	20,733	12,773	61.4	1,038円88銭
18年9月中間期	20,969	12,415	59.0	1,009円54銭
19年3月期	21,643	12,822	59.0	1,042円65銭

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	営業キャッシュ・フロー	投資活動キャッシュ・フロー	財務活動キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
19年9月中間期	840	100	△713	1,415
18年9月中間期	1,099	179	△1,243	1,044
19年3月期	1,396	△174	△1,044	1,187

### 2. 配当の状況

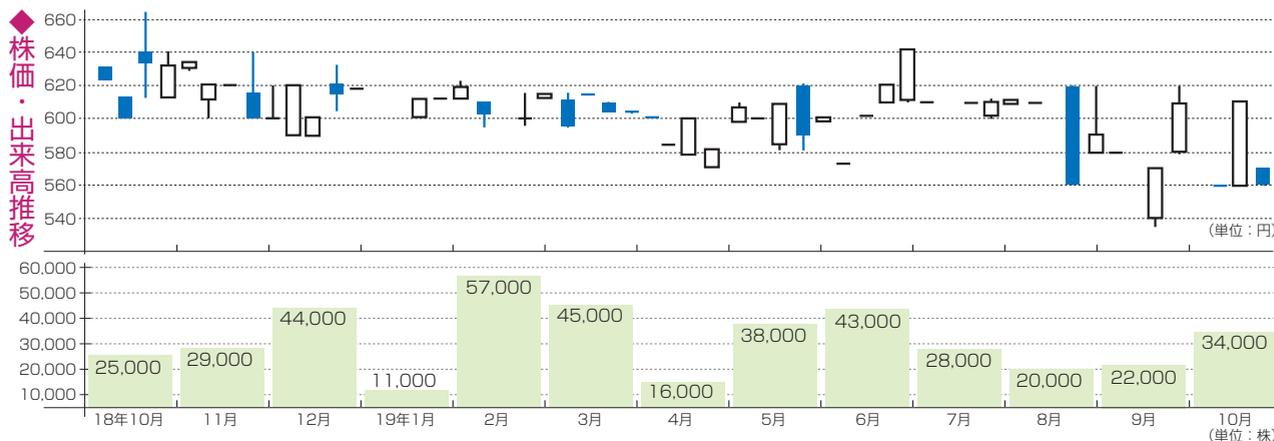
	1株当たり配当金(円)	
	期末	年間
19年3月期	15.00	15.00
20年3月(予想)	15.00	15.00

### 3. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(%は前年同期比増減率)

	売上高(百万円)	%	営業利益(百万円)	%	経常利益(百万円)	%	当期純利益(百万円)	%	1株当たり当期純利益
通期	34,700	2.8	1,000	16.0	1,050	6.8	600	5.6	48円98銭

(注) 金額は百万円未満を切り捨てております。



# 株式の状況・会社役員

## ■株式状況 (平成19年9月30日現在)

- ① 発行可能株式総数 40,000千株
- ② 発行済株式の総数 12,300千株
- ③ 1単元の株式の数 1,000株
- ④ 株 主 数 663名

## ■大株主

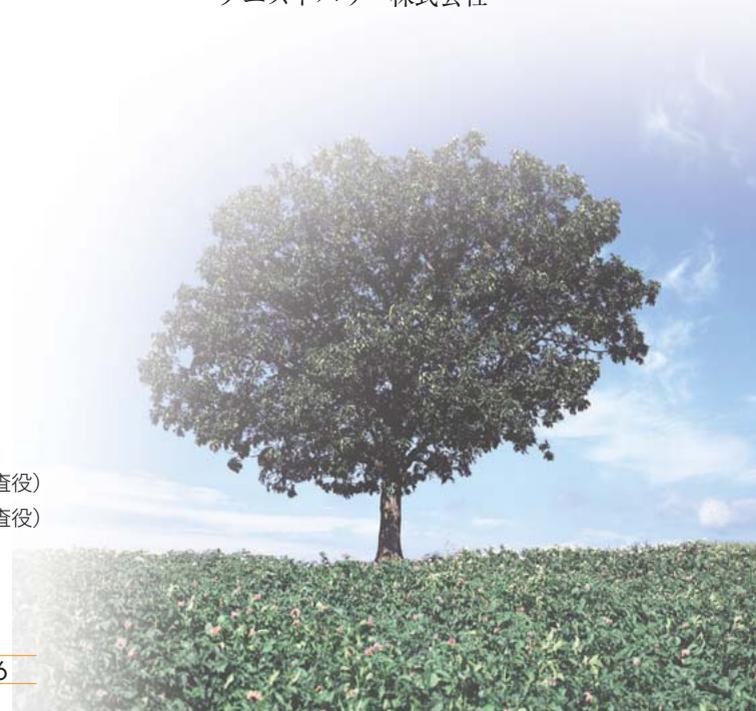
株 主 名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
株式会社ミツウロコ 等々力正敏	1,676	13.6
株式会社八十二銀行	614	5.0
リンナイ株式会社	580	4.7
東燃ゼネラル石油株式会社	512	4.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (管理信託口 79212)	500	4.1
須 澤 孝 雄	366	3.0
曾 根 原 充 夫	346	2.8
曾 根 原 かつ 江	331	2.7
株 式 会 社 ヤ マ キ	323	2.6
	297	2.4

## ■役 員 (平成19年9月30日現在)

代表取締役社長	二 木 馨 三
代表取締役専務	柳 澤 勝 久
常 務 取 締 役	中 村 勝 彦
常 務 取 締 役	岡 村 時 則
取 締 役	田 島 直
取 締 役	川 窪 磯 男
取 締 役	小 川 廣
取 締 役	大 槻 清 人
取 締 役	山 崎 貞 男
取 締 役	寺 澤 久 水
取 締 役	田 島 晃 平
常 勤 監 査 役	田 中 賢 治
常 勤 監 査 役	曾根原 充 夫
監 査 役	山 根 伸 右 (社外監査役)
監 査 役	神 澤 正 哲 (社外監査役)

# 会社の概要

- 社 名／サンリン株式会社
- 設 立／昭和9年12月19日
- 資 本 金／15億1,280万円
- 従 業 員 数／479名 (グループ人員 平成19年9月30日現在)
- 事業の内容／石油製品、LPガス、一般高圧ガスおよび住設機器の販売、煉炭・豆炭の製造販売
- 子 会 社／三鱗運送株式会社  
ウロコ興業株式会社  
富山サンリン株式会社  
サンエネック株式会社  
上伊那ガス燃料株式会社  
サンリン松本石油株式会社  
サンリンエネルギー商事株式会社
- 関連会社／新潟サンリン株式会社  
クレストパワー株式会社



# 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月開催
配当金	毎年3月31日（ただし、中間配当を行う場合は9月30日）
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-7111（通話料無料）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
公告掲載URL	<a href="http://www.sanrinkk.co.jp/">http://www.sanrinkk.co.jp/</a> （ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。）

## ご案内

- ①当社の配当金は、お取引銀行口座への直接入金方法をご利用いただけますと、迅速、確実にお受取りになれます。
- ②単元未満株式の買取・買増制度のご利用について  
当社は、単元未満株式ご所有の皆さまのご便宜をはかるため、単元未満株式の買取・買増制度を実施しております。本件手続は、株主名簿管理人が行いますので、具体的手続きやお問い合わせは、三菱UFJ信託銀行宛にお願い申し上げます。  
なお、買取請求は、3月31日および9月30日のそれぞれ12営業日前から当日までの期間はお取扱いができませんので、ご注意ください。

 SANRIN CO., LTD.

<http://www.sanrinkk.co.jp/>

  
証券コード：7486



この報告書は、  
環境に優しい大豆油インクを使用して印刷しています。



高級配合剤100%再生紙を使用